

京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画（仮称）
中間案＜案＞

令和5年8月

福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、豊岡市

京都府、兵庫県

目 次

□ 序章

背景と目的	1
1 沿線地域を取り巻く社会情勢	
(1) 京都丹後鉄道の沿革	2
(2) 沿線地域の人口・年齢別人口の推移	4
(3) 通勤・通学者の流動	5
(4) 自動車利用の状況	8
(5) 道路交通ネットワークの充実	10
(6) 駅周辺のまちづくり	11
(7) 観光の動向	13
2 京都丹後鉄道と沿線の公共交通の現況	
2.1 京都丹後鉄道の現況	16
(1) 駅設備等の状況	16
(2) 保有車両の状況	17
(3) 列車運行の状況	18
(4) 他の交通モードとの連携	19
(5) 広域交通アクセスとの連携	20
2.2 京都丹後鉄道の利用状況	22
(1) これまでの利用実績と将来予測	22
(2) インバウンドの利用者見込み	22
2.3 WTの経営状況	24
(1) 経営状況の推移	24
(2) 収入	25
(3) 支出	26
2.4 沿線自治体のまちづくり計画等	
(1) 沿線自治体のまちづくり計画における鉄道の位置づけ	24
(2) 沿線自治体の地域公共交通計画の策定状況	24
(3) 沿線自治体の観光振興計画における鉄道の位置づけ	25
(4) 駅周辺のまちづくりに関する取組	26
3 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画（H27～R6）の取組状況と評価	
(1) 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画の取組状況	32
(2) 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画の目標達成状況	35
(3) 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画の評価	36

4	京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画	
4.1	計画の基本方針等	39
(1)	計画策定の背景	39
(2)	計画の基本方針	39
(3)	計画の期間	40
(4)	計画の区域	41
4.2	施策の方向性	42
(1)	現行計画の取組状況を踏まえた課題	43
(2)	施策展開の方向性	42
4.3	計画の目標	44
4.4	具体的な取組内容と実施主体、スケジュール	45
(1)	安心・安全な運行と持続可能性の確保	45
(2)	快適性・利便性の向上	46
(3)	沿線地域のまちづくりや観光戦略との連携	48
(4)	沿線住民など多様な主体との連携	50
(5)	施策の実施スケジュール	53

はじめに

◆ 背景と目的

京都府北部の丹波、丹後地域と兵庫県北東部の但馬地域を運行する京都丹後鉄道（以下、丹鉄と記述）は、1988年（昭和63年）に開業した宮福線と、1990年（平成2年）にJR西日本から転換された宮津線である。2015年（平成27年）4月、鉄道事業再構築実施計画に基づき、北近畿タンゴ鉄道（以下、KTRと記述）が行ってきた鉄道運行事業が「WILLER TRAINS株式会社」（以下、WTと記述）に移譲され、以後、WTを第二種鉄道事業者、KTRを第三種鉄道事業者とする上下分離方式による運行が開始され、今日に至っている。

KTR及びWTは、開業以来、地域住民の日常の移動手段として、また、この地域で盛んな機械金属工業や織物業などのビジネスや、観光地と都市部を結ぶネットワークの基軸として重要な役割を果たしてきた。しかし、少子高齢化や道路網の整備、モータリゼーションの進展、レジャーの多様化、産業の空洞化等により、大変厳しい経営環境となっている。

このような状況の中、2014年（平成26年）12月に策定した「北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画」（計画期間：平成26年度～令和6年度）に基づき、上下分離方式の導入による鉄道事業の再構築を目指して、観光まちづくりや鉄道の利用促進などに取り組んできたが、沿線地域の人口減少に加え、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の流行拡大による公共交通の利用者の減少により、経営は一層厳しい状況にある。

このような中で、将来にわたって安心・安全で持続可能な鉄道の活性化・再生を計画的に図っていくため、「京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画（仮称）」の策定に取り組むものである（計画期間：原則10年程度）。

本計画では、丹鉄及び沿線地域の現状と課題、将来の展望などを整理し、令和4年3月に策定された京都府北部地域連携都市圏公共交通計画や沿線自治体の地域公共交通計画と連携を図り、地域の生活経済を支える社会基盤として交通ネットワークの構築、経営の安定化のための効果的な利用促進や収入拡大策、安心・安全な公共交通の確保のための取組など、丹鉄の活性化・再生のための施策や目標を定めるものである。

1 沿線地域を取り巻く社会情勢

(1) 京都丹後鉄道の沿革

① 宮福線の開業からKTR誕生まで

1920年（大正9年）に「北丹鉄道株式会社」が設立され、1923年（大正12年）に福知山～河守間を結ぶ北丹鉄道が開業したが、河守鉱山の閉山等により1971年（昭和46年）に営業が終了された。また、宮津～河守間は1966年（昭和41年）に着工したが、昭和55年の「日本国有鉄道経営再建促進特別措置法」（以下、日本国有鉄道は国鉄、同法は国鉄再建法と表記）の制定により、工事は凍結された。

しかし、地元の総意で結成された宮福線建設促進期成同盟は、「バス路線への転換ではなく、鉄道による宮福線の建設」を決議し、1982年（昭和57年）には第三セクター「宮福鉄道株式会社」が設立された。1983年（昭和58年）に工事を再開し、京都府北部地域と京阪神地域を短絡する路線として、また、地域活性化に欠くことのできない路線として、1988年（昭和63年）7月に悲願の新線である宮福線（宮津～福知山間30.4km）が開業した。その後、1989年（平成元年）8月に社名を「北近畿タンゴ鉄道株式会社」と改めた。

② 宮津線の開業からKTR誕生まで

宮津線は、京都府の丹後地域と兵庫県の但馬地域を東西に結ぶ路線として、鉄道省（国鉄の前身）によって1932年（昭和7年）に舞鶴（現西舞鶴）～豊岡間が全線開通し、戦後に国鉄宮津線となった。1979年（昭和54年）には年間約30億円の赤字を計上し、1980年（昭和55年）に国鉄再建法による廃止対象路線（輸送密度4,000人未満：基準年＝昭和52～54年）に指定された。その後、地域一丸となって存続に向けた乗車運動や要望活動を展開したが、1990年（平成2年）3月をもって廃止と決定された。

このため、廃止後の輸送手段について地元3市10町当時の市町長、議会議長及び商工団体代表で構成する「宮津線問題対策協議会」において議論が重ねられ、「鉄道として存続させる」という沿線住民全ての悲願を実現するため、第三セクターによる鉄道として残すこととした「転換計画(案)」が了承された。

これを受け、国、京都府、兵庫県、沿線市町、JR西日本等により構成された国鉄再建法に基づく「宮津線特定地方交通線対策協議会」は、1988年（昭和63年）6月に宮津線問題対策協議会の「転換計画(案)」を前提に鉄道を存置し、宮福鉄道株式会社はその運営を引き受けることを全会一致で決定して、廃線の危機を乗り越えた。そして、1990年（平成2年）4月に転換開業し、KTRは宮津線と宮福線を一体運営する会社となった。

③ 鉄道運行事業のKTRからWTへの移譲まで

1996年（平成8年）3月に、宮福線全線及び宮津線宮津～天橋立間が電化開業し、京都、大阪から天橋立までの直通の電車特急の乗り入れが開始され、京阪神方面からのアクセスが大きく向上した。その後も、パターンダイヤの導入や観光列車の運行など、沿線住民の利便性向上及び来訪者への魅力向上に向け様々な取組を行ってきた。

2015年（平成27年）4月、鉄道事業再構築実施計画に基づき、鉄道運行事業がWTに移譲され、WTが第二種鉄道事業者、KTRが第三種鉄道事業者となり、上下分離方式による運行が開始され、今日に至っている。

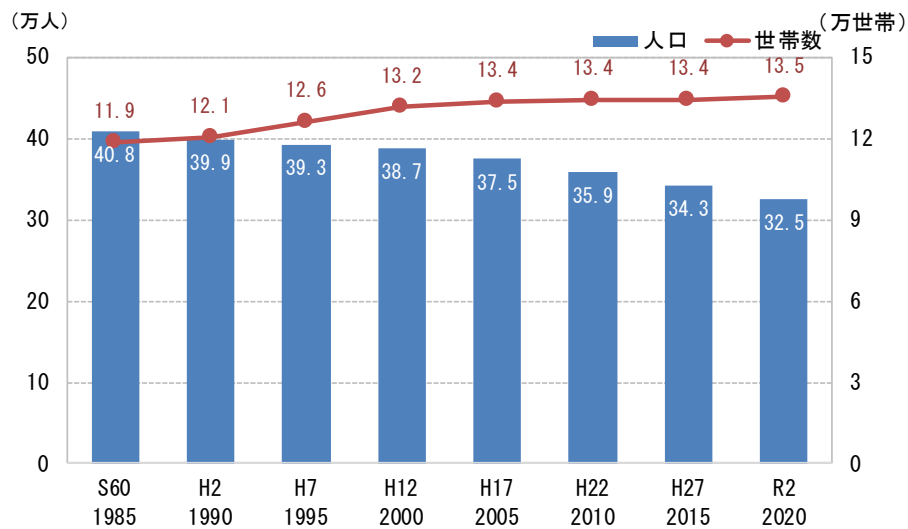
表 京都丹後鉄道の沿革

年次	宮福線	宮津線（現宮舞線及び宮豊線）
1920年（大正9年）	北丹鉄道（株）設立	
1923年（大正12年）	福知山～河守（12.4km）開業	
1924年（大正13年）		舞鶴～宮津営業開始（鉄道省） 以後、宮津以西順次開通
1932年（昭和7年）		丹後木津→久美浜開通→宮津線全通 戦後、鉄道省から国鉄に移管
1966年（昭和41年）	国鉄新線 宮守線（宮津～河守）建設 に着工	
1971年（昭和46年）	河守鉱山の閉山等により北丹鉄道 営業休止	
1974年（昭和49年）	北丹鉄道（株）解散	
1975年（昭和50年）	宮守線→宮福線に区間変更 （1979年着工）	
1980年（昭和55年）	国鉄再建法施行により建設工事中断	国鉄再建法による「特定地方交通線 （第3次）」に選定
1982年（昭和57年）	宮福鉄道（株）設立	
1983年（昭和58年）	宮福線工事再開（日本鉄道建設公団）	
1987年（昭和62年）		国鉄→西日本旅客鉄道（株）（JR西日本） が承継
1988年（昭和63年）	宮福線開業	宮福鉄道（株）が引き継ぐことを決定
1989年（平成元年）	宮福鉄道（株）が北近畿タンゴ鉄道に社名変更	
1990年（平成2年）	特急「タンゴエクスプローラー」運転 開始	北近畿タンゴ鉄道に移管・開業
1996年（平成8年）	電化開業（福知山～（宮津線）天橋立） JR西日本からの直通の特急「はしだて」、「文殊」、「タンゴディスカバリー」 が運転開始	
2013年（平成25年）	「丹後あかまつ号」「丹後あおまつ号」運転開始	
2014年（平成26年）	「丹後くろまつ号」運転開始	
2017年（平成29年）	「丹後の海」運転開始	
2015年（平成27年）	鉄道事業再構築実施計画に基づき、鉄道運行事業をWILLER TRAINS（WT） に移譲 WILLER TRAINS 株式会社が第二種鉄道事業者、北近畿タンゴ鉄道株式会社が 第三種鉄道事業者となり、上下分離方式による運行を開始 宮津線の路線愛称を、宮津～西舞鶴間を宮舞線、宮津～豊岡間を宮豊線に改 称	

(2) 沿線地域の人口・年齢別人口の推移

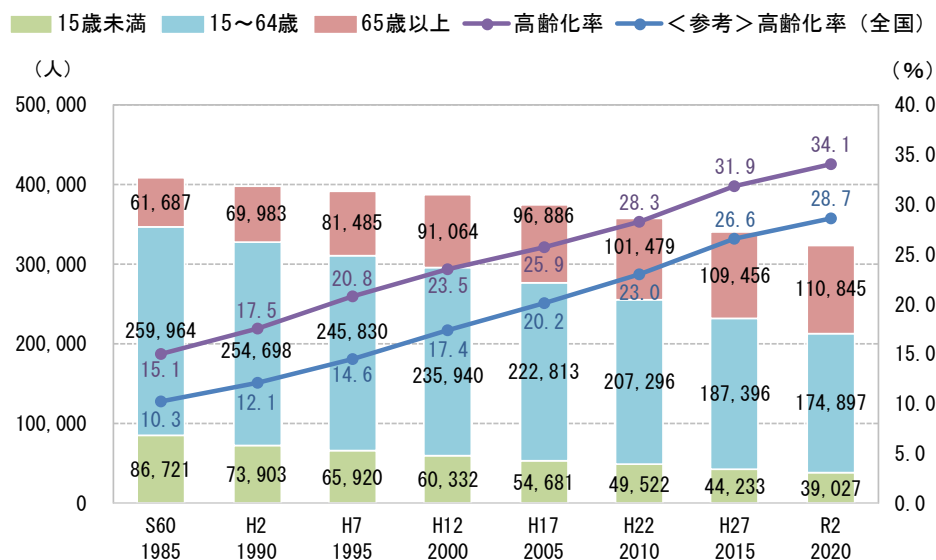
沿線地域（京都府福知山市・舞鶴市・宮津市・京丹後市・与謝郡伊根町・与謝郡与謝野町・兵庫県豊岡市）の人口は減少し続けている。反対に世帯数は近年ほぼ横ばいであり、核家族化が進行していると考えられる。

世代で見ると 64 歳未満の人口が減少しているのに対し、65 歳以上の人口は増加傾向にあり、高齢化率も全国平均 28.4%（令和 2 年国勢調査）に対し 34.1%（同）と高い水準にある。



出典：国勢調査

図 沿線地域の人口及び世帯数の推移

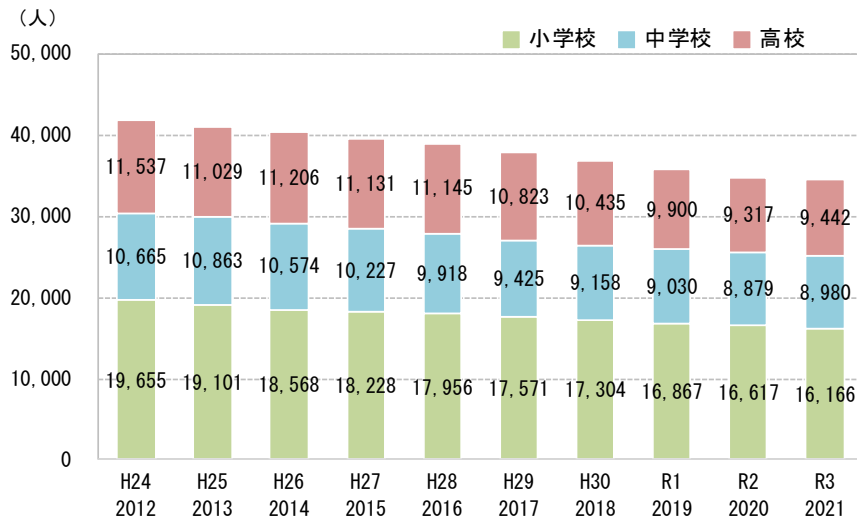


出典：国勢調査

図 沿線地域の年齢別人口及び高齢化率の推移

(3) 通勤・通学者の流動

沿線市町村の小学校・中学校・高等学校に通学する児童・生徒数は年々減少しており、平成24年からの10年間で17.4%減少している。



出典：京都府統計書、兵庫県統計書

図 児童・生徒数の推移

高等学校のうち最寄り駅から1 km 圏内にあるのは5校（府立海洋高等学校・府立西舞鶴高等学校・府立大江高等学校・府立工業高等学校・京都共栄学園高等学校）のみであり、府立宮津天橋高等学校加悦谷学舎（3.7km）、府立福知山高等学校（3.1km）など最寄り駅から歩いて通学することができない高校も散見される。

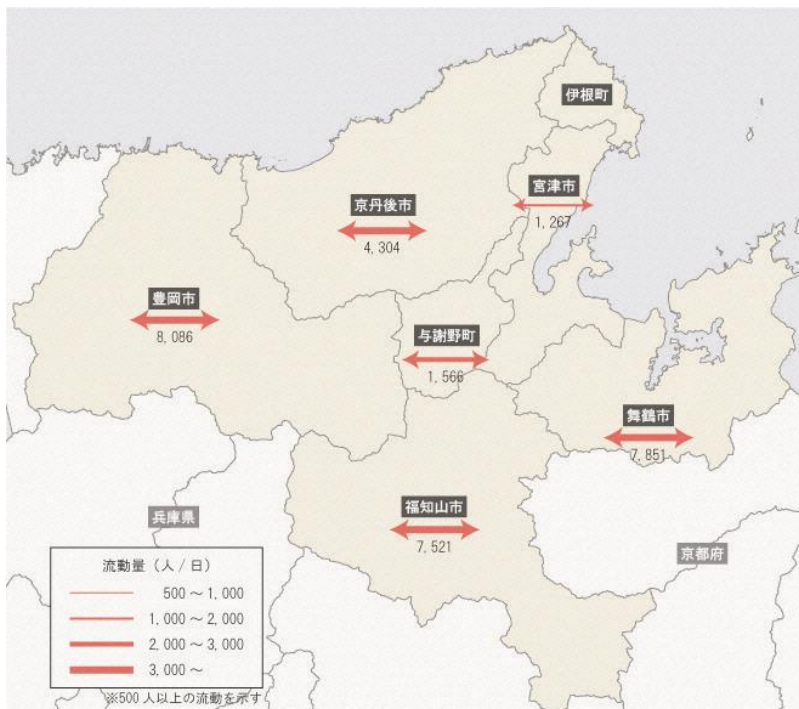
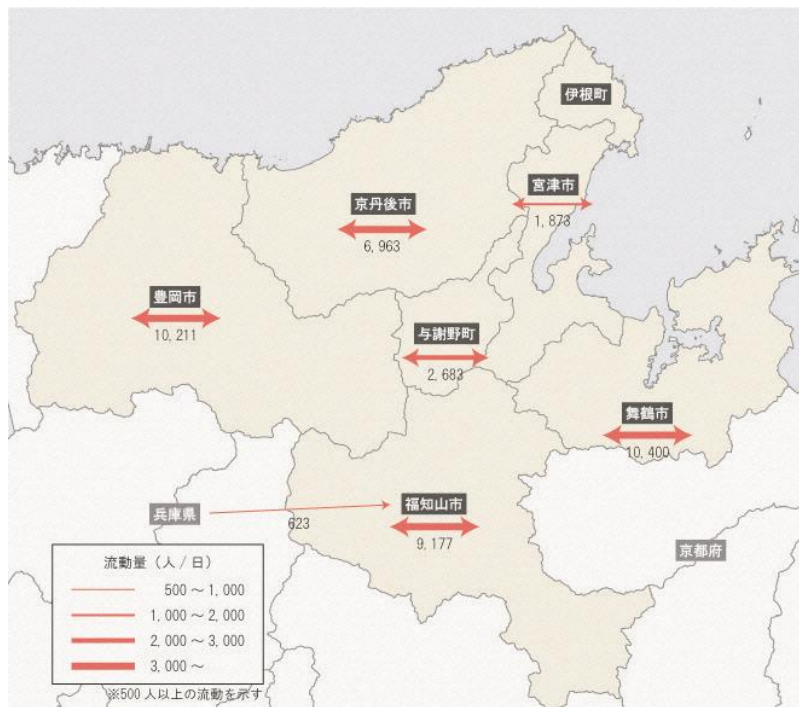


図 沿線地域に立地する高等学校、大学

沿線地域の流動を見ると、通学、通勤ともに各市町村内での移動が中心となっている。

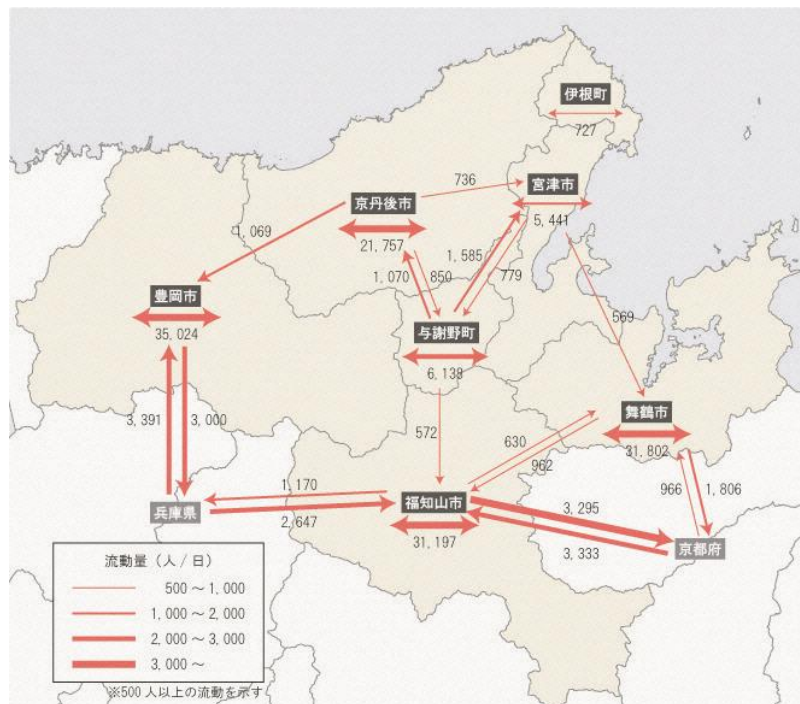
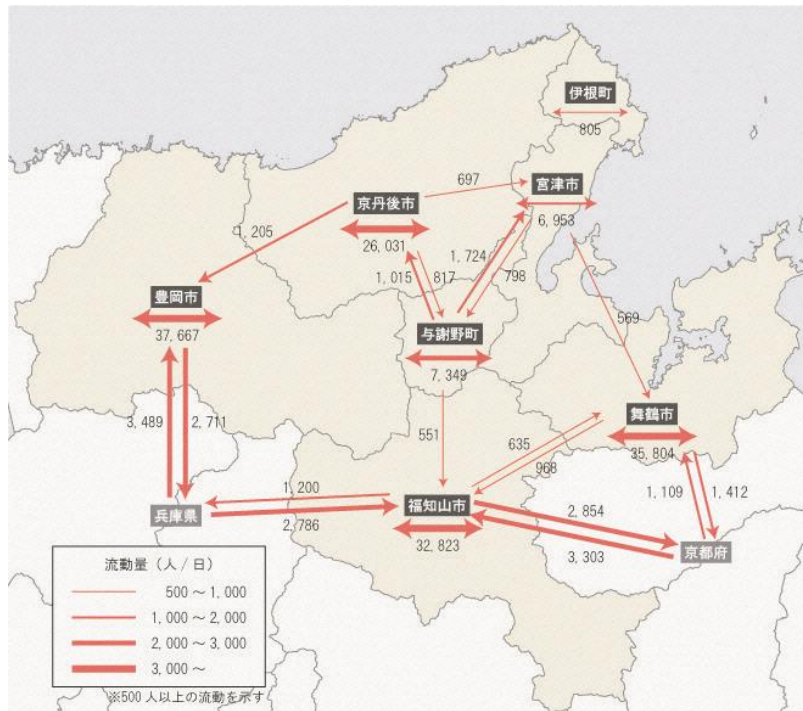
通学者については移動範囲が丹後地域と中丹地域に分かれており、丹後地域は宮津市、中丹地域は福知山市への流入が多い。中丹地域は通学移動が比較的活発であり、生徒数が減少しているにもかかわらず移動の総数は増えている。

就業者についても同様に丹後地域内・中丹地域内での移動が多いが、福知山市、舞鶴市、京丹後市、豊岡市については府県をまたぐ広域な移動が発生している。



出典：国勢調査

図 15 歳未満通学者を含む通学者の流動（上段：H22年、下段：R2年）



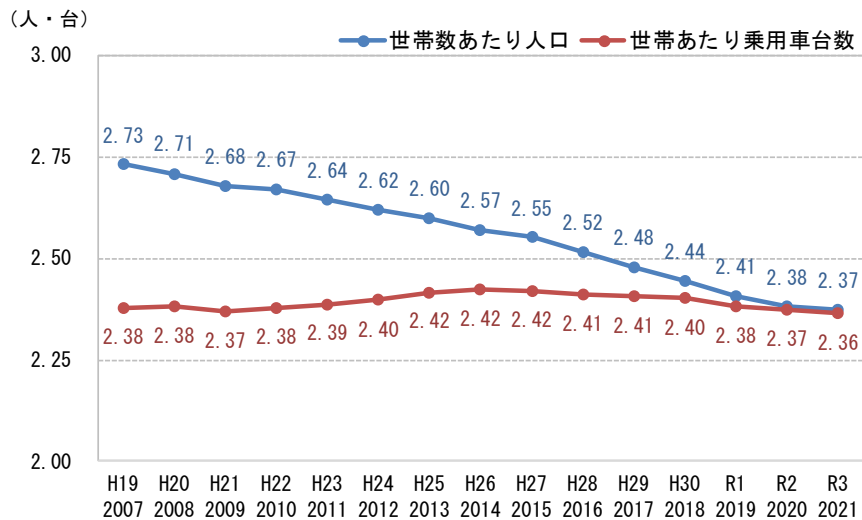
出典：国勢調査

図 就業者の流動（上段：H22年、下段：R2年）

(4) 自動車利用の状況

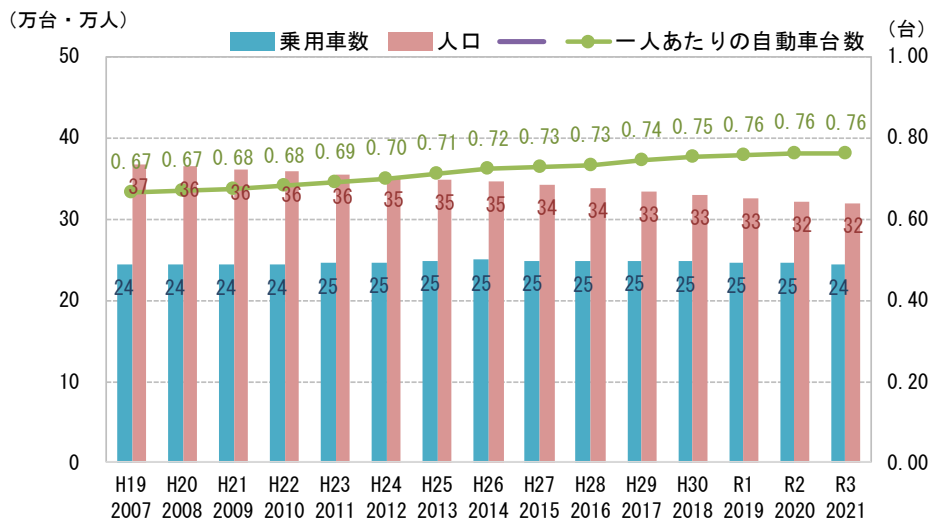
沿線地域の乗用車（軽四輪自動車を含む。以下同じ）の台数は平成26年をピークに微減傾向にある。

世帯あたりの乗用車台数はほぼ横ばいであり、人口一人あたりで換算すると乗用車台数は増加している。約4人に3台の割合で乗用車を保有している計算となり、高い普及率がうかがえる。



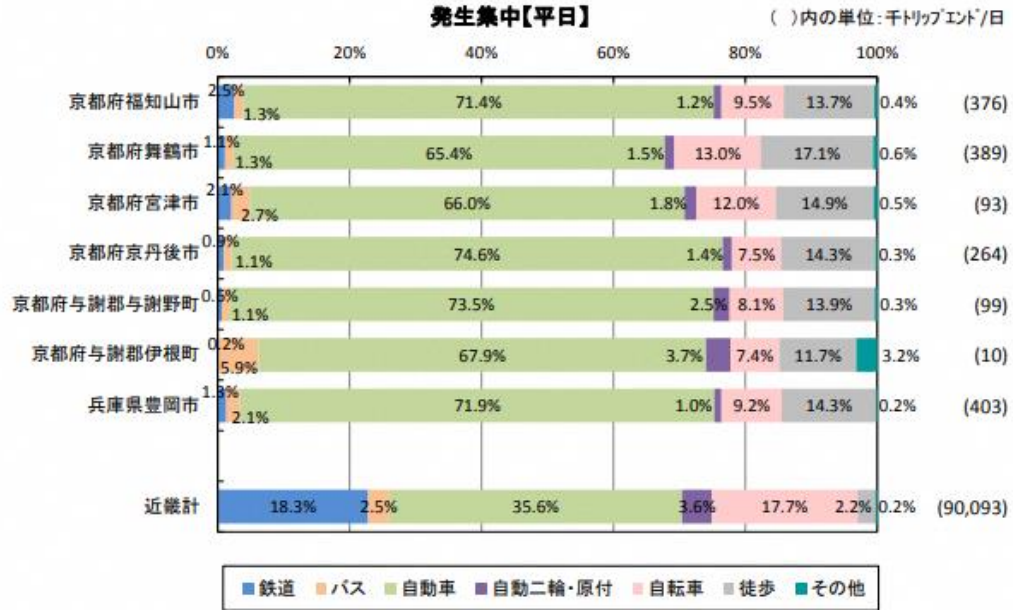
出典：京都府統計書、兵庫県統計書

図 沿線地域の世帯当たりの人口と乗用車保有台数



出典：京都府統計書、兵庫県統計書

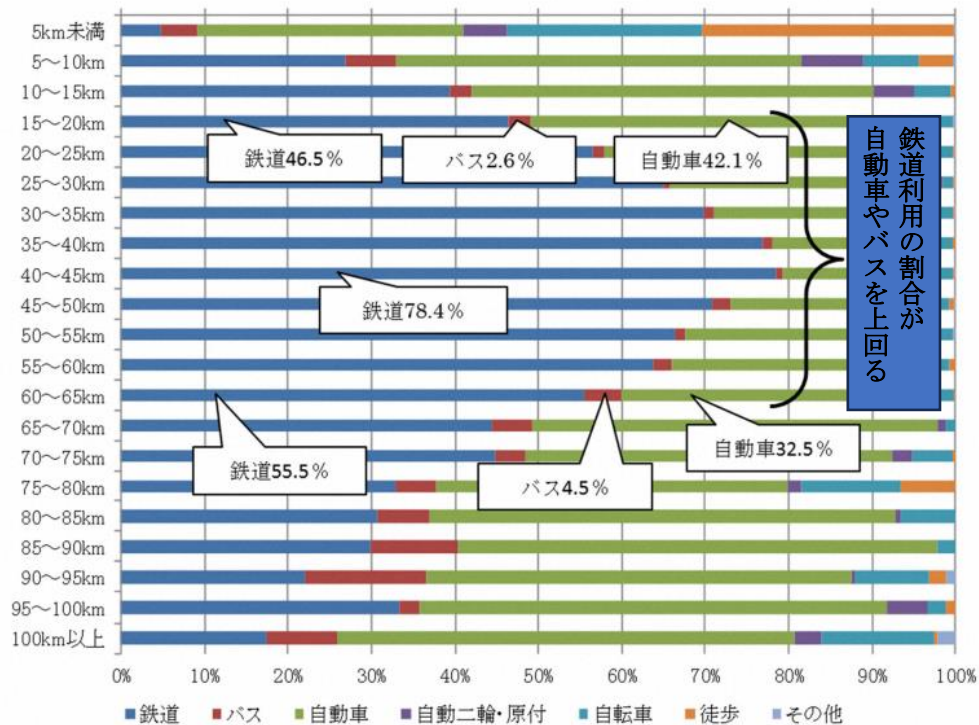
図 沿線地域の一人当たりの乗用車保有台数



出典：パーソントリップ調査（H22年）

※第6回近畿圏PT調査（R3年実施）データ未公表のため、H22年集計データを使用

図 沿線地域別の代表交通手段



出典：パーソントリップ調査（H22年）

※第6回近畿圏PT調査（R3年実施）データ未公表のため、H22年集計データを使用

図 総トリップ長と代表交通手段の関係

(5) 道路交通ネットワークの充実

道路交通については、舞鶴若狭自動車道（平成 26 年全線開通）や京都縦貫自動車道（平成 27 年全線開通）、山陰近畿自動車道（平成 28 年野田川大宮道路開通、大宮峰山道路整備中）など高速道路網が拡大している。

一般道についても、国道 27 号（舞鶴市）、国道 9 号（福知山市）等で混雑緩和のためバイパス道路の整備が行われているほか、由良川沿い国道 175 号線や主要地等においては災害に備えたかさ上げが行われるなど、道路整備が進展しており、自動車交通の利便性・安全性が向上していくことが見込まれる。

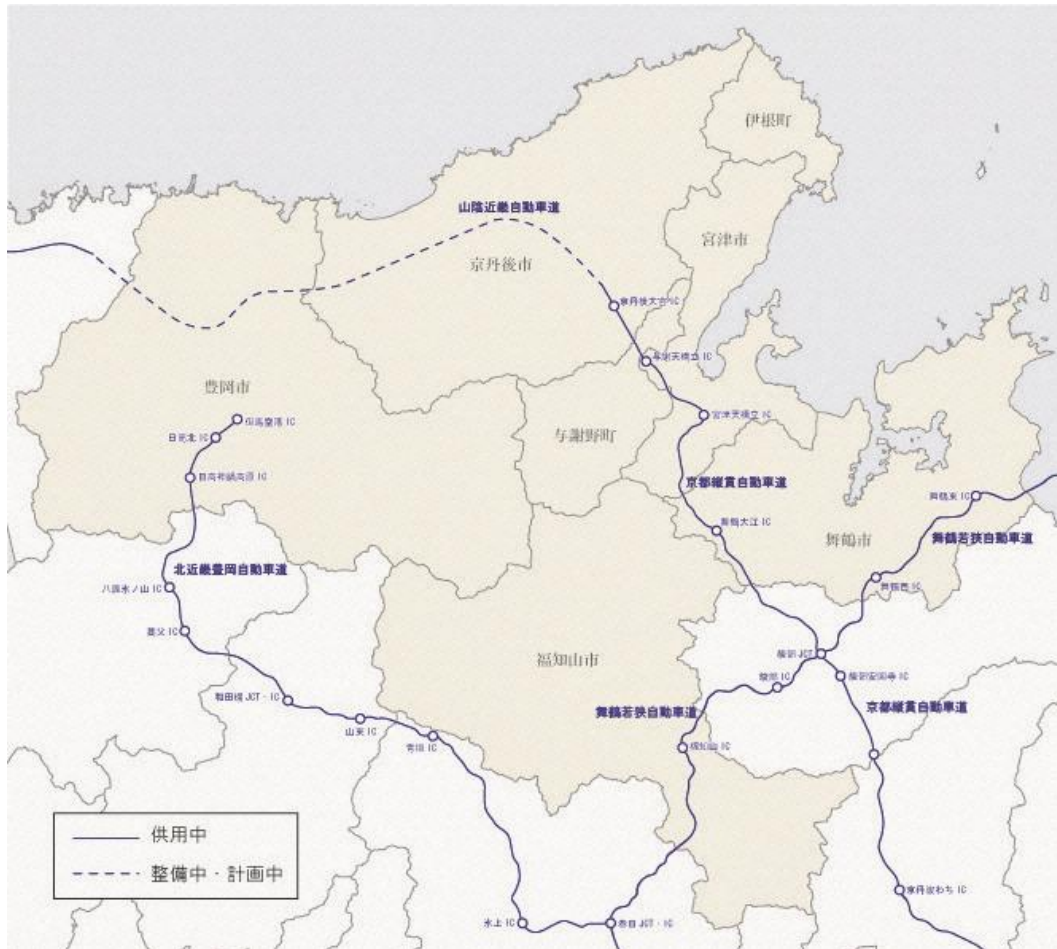


図 高速道路の整備状況

(6) 駅周辺のまちづくり

表 各駅の特徴と周辺の都市機能

	駅名	目的施設								拠点となる駅	
		日常生活						観光		日常生活	観光
		公共	商業	医療	運動	学校	ターミナル	特急	観光		
宮舞線	西舞鶴	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○
	四所										
	東雲										
	丹後神崎								○		○
	丹後由良								○		○
	粟田				△	○					
宮豊線	宮津	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○
	天橋立						○	○	○		
	岩滝口			△			○				
	与謝野	△	△		△	△	○	○	△	○	○
	京丹後大宮	○	△				○	○		○	
	峰山	△	△	△	△	△	○	○		○	
	網野	△		△	△	△	○	○	△		
	夕日ヶ浦木津温泉						○	○	△		
	小天橋								△		
	かぶと山					△					
	久美浜	○		△	△		○	○	○	○	○
	コウノトリの郷								○		
	豊岡	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○
宮福線	宮村										
	喜多										
	辛皮										
	大江山口内宮								○		○
	二俣										
	大江高校前					○				○	
	大江	○	△	○			○	○	○	○	
	公庄				△						
	下天津				△						
	牧										
	荒河かしの木台		○								
	福知山市民病院口		△	○							
	福知山	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○

公…公共施設：市役所・支所・税務署・図書館・多目的ホールなど

商…商業施設：デパート・ショッピングセンター・スーパーなど（小規模なものは除く）

医…医療施設：病院・診療所など（小規模なものは除く）

運…運動施設：競技場・公園など

学…学校施設：大学・高校（幼稚園・保育所・小中学校は除く）

バ…ターミナル駅（路線バス（幹線）とアクセスしている交通結節点の駅）

特…特急が停車する駅

観…観光地が近くにある駅

△…最寄駅となっているが駅利用圏内（500mもしくは徒歩圏内1km以内）に存在しないもの

表 駅勢圏人口と各駅利用者の状況

駅名	駅半径 1km 圏人口			乗降客数	駅 利用率 (%)	駅半径 1km 圏人口			乗降客数	駅 利用率 (%)	
	人口 (H22 年)	従業者数 (H21 年)	合計	日平均 (H22 年)		人口 (R2 年)	従業者数 (H28 年)	合計	日平均 (R2 年)		
宮舞線	西舞鶴	9,754	5,820	15,574	620	4.0	9,488	4,630	14,118	290	2.1
	四所	638	351	989	19	1.9	578	299	877	8	0.9
	東雲	314	55	369	35	9.5	219	23	242	11	4.5
	丹後神崎	450	55	505	23	4.6	338	29	367	16	4.4
	丹後由良	943	206	1,149	122	10.6	786	245	1,030	52	5.0
	栗田	846	232	1,078	298	27.6	675	105	780	178	22.8
宮豊線	宮津	5,626	4,219	9,845	842	8.6	4,833	2,917	7,751	400	5.2
	天橋立	339	719	1,058	353	33.4	314	675	989	159	16.1
	岩滝口	1,585	915	2,500	61	2.4	1,401	740	2,141	52	2.4
	与謝野	1,559	685	2,244	269	12.0	1,406	638	2,044	175	8.6
	京丹後大宮	2,647	1,522	4,169	149	3.6	2,506	1,405	3,911	107	2.7
	峰山	2,660	2,018	4,678	288	6.2	2,395	1,593	3,988	216	5.4
	網野	969	667	1,636	288	17.6	769	430	1,198	142	11.9
	夕日ヶ浦木津温泉	770	459	1,229	152	12.4	580	440	1,020	74	7.3
	小天橋	784	179	963	47	4.9	702	148	850	55	6.5
	かぶと山	395	112	507	131	25.8	329	103	432	47	10.9
	久美浜	1,767	1,241	3,008	108	3.6	1,605	640	2,245	52	2.3
	コウノトリの郷	2,156	923	3,079	6	0.2	1,921	873	2,794	1	0.0
	豊岡	10,360	9,435	19,795	172	0.9	10,537	7,944	18,481	123	0.7
宮福線	宮村	3,000	768	3,768	7	0.2	2,654	546	3,200	5	0.2
	喜多	718	71	789	8	1.0	550	105	655	0	0.0
	辛皮	18	2	20	4	20.0	10	3	13	0	0.0
	大江山口内宮	110	19	129	6	4.7	84	27	111	0	0.0
	二俣	416	181	597	6	1.0	319	233	552	3	0.5
	大江高校前	1,113	612	1,725	255	14.8	1,019	375	1,394	58	4.2
	大江	1,104	609	1,713	119	6.9	959	425	1,384	63	4.6
	公庄	410	68	478	31	6.5	330	55	385	3	0.8
	下天津	297	53	350	8	2.3	211	36	246	0	0.0
	牧	745	375	1,120	37	3.3	520	348	868	8	0.9
	荒河かしの木台	2,822	1,825	4,647	19	0.4	2,706	1,458	4,164	19	0.5
	福知山市民病院口	6,531	6,154	12,685	36	0.3	6,805	5,916	12,721	11	0.1
	福知山	11,765	13,087	24,852	1,054	4.2	12,056	10,861	22,918	458	2.0
合計	73,611	53,634	127,245	5,573	4.4	69,605	44,265	113,870	2,786	2.4	

出典：国勢調査、経済センサス、京都府統計書、兵庫県統計書

(7) 観光の動向

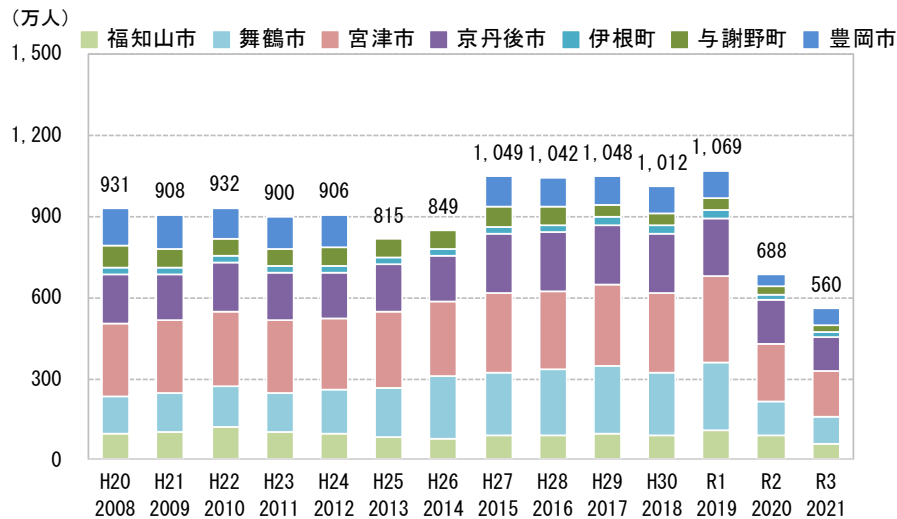
沿線には、夕日ヶ浦やコウノトリの郷公園などの豊かな自然、元伊勢神社やちりめん街道のような歴史・伝統的資源や景観、木津温泉や城崎温泉など、バラエティに富んだ観光資源が存在する。しかし、駅からアクセスが悪い観光地も多く、公共交通機関の連携等による周遊性の向上に課題が残っている。

表 沿線の主たる観光資源と最寄り駅

最寄り駅		観光資源
宮舞線	西舞鶴駅	五老スカイタワー
		舞鶴とれとれセンター
		舞鶴かまぼこ工房
		田辺城跡
		MAIZURU P.B Harbor Park
		舞鶴西港・京都舞鶴港
		近畿自然歩道 伊佐津川水辺のみち
	四所駅	大庄屋上野家（国の登録有形文化財）
	丹後神崎駅	神崎海水浴場
		京都丹後鉄道 由良川橋梁
	丹後由良駅	丹後由良海水浴場
		京都丹後鉄道 由良川橋梁
		丹後天橋立大江山国定公園 奈具海岸
由良オリーブもみじ公園		
栗田駅	丹後天橋立大江山国定公園 奈具海岸（国定公園）	
宮豊線	宮津駅	金引の滝（日本の滝百選）
		宮津島崎公園
		道の駅「海の京都」
		獅子崎稲荷神社
		カトリック宮津教会（京都府指定有形文化財）
		近畿自然歩道 大江山伝説のみち普甲峠コース
	天橋立駅	天橋立（特別名勝・国定公園・日本三景・日本遺産）
		天橋立傘松公園
		成相寺（西国巡礼第28番札所）
		知恩寺（日本三文殊）
		天橋立ビューランド
		元伊勢籠神社（丹後国一宮）
		天橋立ワイナリー
	丹後郷土資料館	
	岩滝口駅	阿蘇シーサイドパーク
	与謝野駅	ちりめん街道（重要伝統的建造物群保存地区）
		丹後ちりめん歴史館
	峰山駅	丹後王国「食のみやこ」
		天女の里

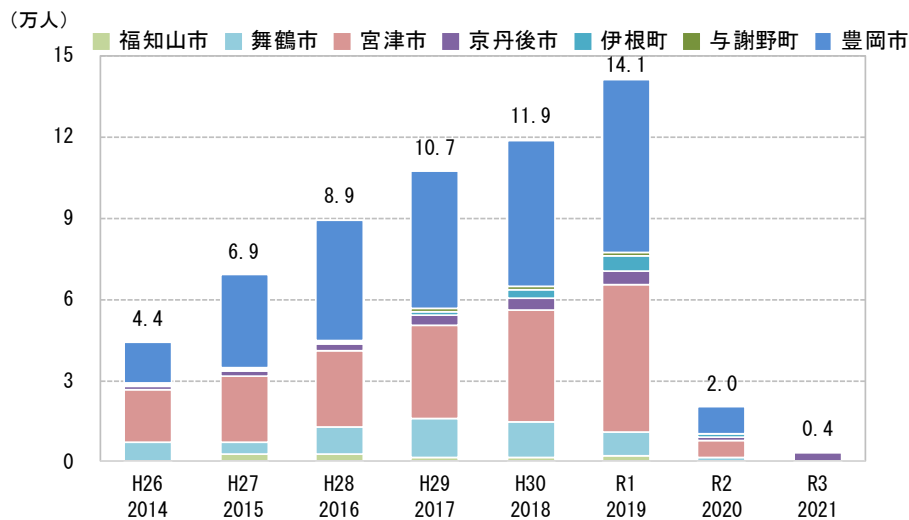
最寄り駅		観光資源
宮豊線	網野駅	琴引浜
		京丹後市立丹後古代の里資料館
		八丁浜シーサイドパーク
		浅茂川温泉
		京丹後市立郷土資料館
	夕日ヶ浦木津温泉駅	夕日ヶ浦
		夕日ヶ浦木津温泉
		箱石浜海水浴場
		丹後砂丘
		金刀比羅神社
		花郷 OKADA
	小天橋駅	道の駅くみはま SANKAIKAN
		小天橋
		小天橋海水浴場
		葛野浜海水浴場
	かぶと山駅	近畿自然歩道 箱石浜と兜山を訪ねるみち
	久美浜駅	久美浜湾
		かぶと山展望台
		奥山自然たいけん公園
	コウノトリの郷駅	豊岡市立コウノトリ文化館
		兵庫県立コウノトリの郷公園
	豊岡駅	小田井縣神社（但馬五社）
		ファーマーズマーケットたじまんま
カバンストリート		
豊岡劇場		
玄武洞（国の天然記念物）		
近畿自然歩道 円山川 水面に沿って歩くみち		
豊岡駅（JR 城崎温泉駅）	城崎温泉	
宮福線	宮村駅	近畿自然歩道 大江山伝説のみち普甲峠コース
	喜多駅	近畿自然歩道 大江山伝説のみち普甲峠コース
	辛皮駅	近畿自然歩道 大江山伝説のみち普甲峠コース
		近畿自然歩道 大江山伝説のみち鬼の山コース
	大江山口内宮駅	天岩戸神社
		元伊勢内宮皇大神社
		近畿自然歩道 大江山伝説のみち鬼の山コース
	二俣駅	大江町和紙伝承館
	大江高校前駅	元伊勢外宮豊受大神社
	大江駅	日本の鬼の交流博物館
		大江山酒呑童子の里
		二瀬川溪流（国定公園第一種特別地域）
	福知山駅	福知山城
		三段池公園
		福知山鉄道館フクレル
		ゆらのガーデン
佐藤太清記念美術館		

沿線地域全体の観光入込客数は、令和元年度まで増加傾向にあり、中でも舞鶴市の入込客数はクルーズ船就航等を受けて堅調に推移してきた。外国人宿泊客数についても、名勝天橋立を有する宮津市や城崎温泉がある豊岡市を中心に大幅に増加していた。しかしながら、令和2年度の新型コロナウイルス感染症の拡大によって大きな打撃を受け、大幅な減少に転じている。



出典：京都府統計書、兵庫県統計書

図 観光入込客数の推移



出典：京都府域観光入込客数等調査報告書、豊岡観光イノベーションHP

図 沿線地域の外国人宿泊客数